

コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社  
*Coca-Cola Central Japan Company, Limited*

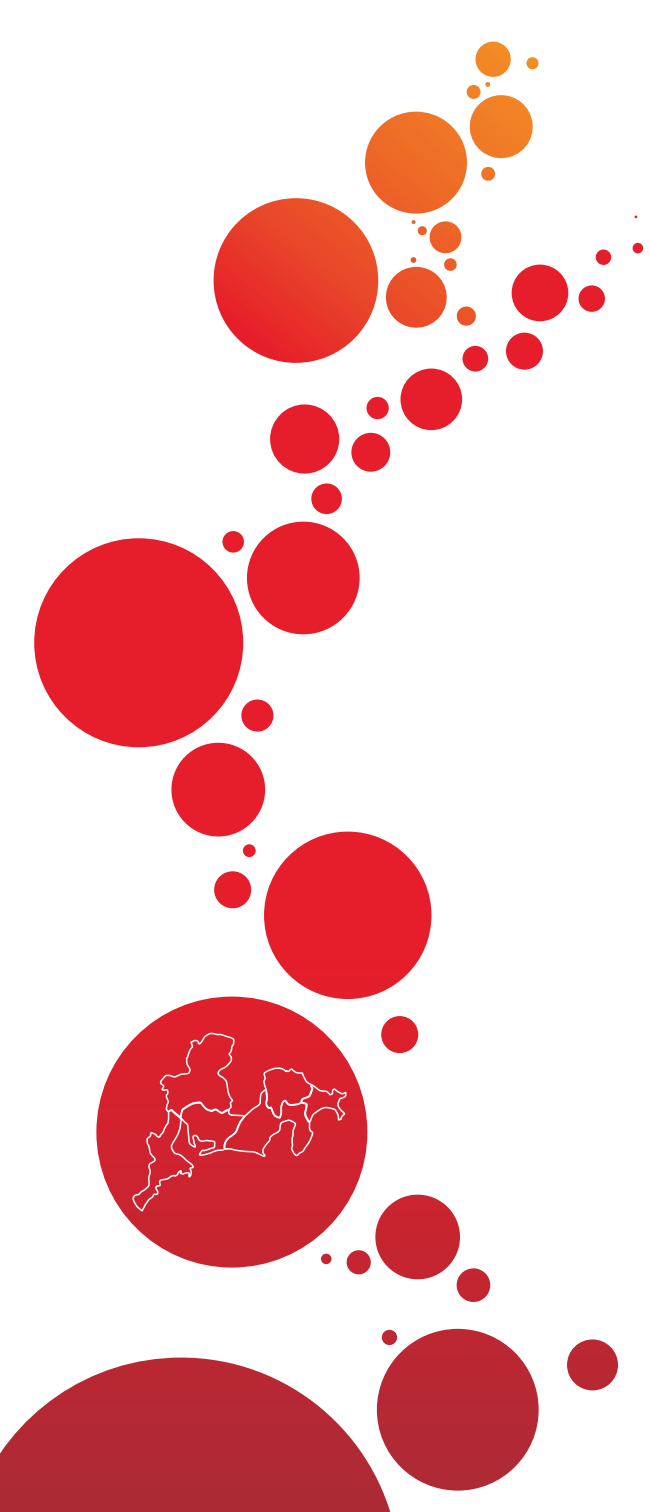
*Coca-Cola CJ*



株主のみなさまへ

第11期 中間(第2四半期)報告書

平成23年9月発行 証券コード: 2580



## 経営理念

お客さまに商品の安全をお約束し、  
爽やかさと満足をお届けします。

株主、従業員の期待に応え、  
企業価値を高めます。

地域社会に貢献し、  
環境の持続的な改善に努め、  
良き企業市民を目指します。



## C O N T E N T S

経営理念	1	上半期の営業概況	9
ごあいさつ	2	四半期連結財務諸表の要旨	9
特集	3	株主インフォメーション	11
TOPICS	5	経営体制	13
下半期新製品のご紹介	7	株式の状況	14
財務ハイライト	8	会社の概要・株主メモ	裏表紙

## ごあいさつ



株主のみなさまにおかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、このたびの東日本大震災により被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

ここに、第11期上半期(平成23年1月1日から平成23年6月30日まで)の営業状況等につきまして、ご報告申し上げます。

上半期のわが国経済は、好調な新興国経済や各種政策効果などを背景に生産や輸出の持ち直しによる企業収益の改善が見られましたが、3月11日に発生した東日本大震災による甚大な被害の影響から、景気の先行きへの不透明感が強まるなど、厳しい状況で推移いたしました。

清涼飲料業界におきましては、震災による製造工場の被災や資材の供給不足等から店頭での品薄状態が発生するなど、3月の販売数量は前年を大きく下回りましたが、4月以降はミネラルウォーターを中心に持ち直し、本年1月から6月の累計期間では、前年を2%程度上回る着地となりました。

このような状況下、当社グループは震災の影響で3月、4月は十分に製品が確保できなかったものの、年初より成長分野であるスーパーマーケット、ドラッグストアにおける販売促進や、静岡エリアの販売体制強化および主要都市でのプロジェクト活動等を推進し取引拡大を図りました。また、併せて、諸経費の圧縮に継続して取り組んだ結果、売上高および営業利益は、前年を上回ることができました。上半期の業績につきましては、後掲の「上半期の営業概況」に記載のとおりであります。

また、当期の中間配当につきましては、平成23年8月2日開催の取締役会決議により、1株につき18円とさせていただきます。

下半期につきましても、原発事故による電力供給不足や円高による製造業への影響等、不確定要素の多い事業環境が予想されますが、市場の変化や消費者のニーズに対応した販売活動を推進してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年9月

代表取締役社長

**高橋 顕三**

# 自動販売機による節電対策

## 自動販売機の夏季のピーク電力に向けた取り組みについて

当社では、夏季の電力供給不足に対する節電協力として、使用電力削減対策を実施しております。自動販売機における節電の取り組みと、今夏の冷却機能の輪番停止による使用電力削減プランの詳細について、ご紹介します。

### ①「ピークカット機能」による節電

夏季(7月～9月)は一般的に冷房需要が急速に増し、消費電力は最大となります。そこで、ピーク時間帯(13時～16時)における電力使用を抑制するため、1995年以降当社の自動販売機は午前中に製品を冷やし込み、ピーク時間帯に冷却運転をストップする「ピークカット機能」を用いてきました。

### ②「ピークカット機能」の拡大による 輪番停止を実施

この夏の電力供給不足に対する節電協力として、東京電力管内の自動販売機で「ピークカット機能」を拡大し、冷却運転を輪番で停止しています。(6月上旬から9月22日まで実施)

自動販売機を設置場所ごとに3つのグループに分けることによって、できるだけ製品温度を低く保ちつつ、使用電力を33%削減することが可能になります。

### ③環境配慮型の自動販売機を導入しています

環境にやさしい「3D VIS<sup>®</sup>」や「ecoる／ソーラー」などの自動販売機を導入することにより、CO<sub>2</sub>排出量の削減はもとより、一層の節電効果を狙います。

※次ページをご参照ください。

#### ●ピークカット機能

	午前 9:00	午後 13:00	16:00	20:00
	通常運転 	冷却運転停止 (従来のピーク カット時間帯)	通常運転 	
消費電力 <sup>※</sup>	300w	17w	300w	

#### ●使用電力削減プラン

	午前 9:00	12:00	午後 13:00	16:00	17:00	20:00
グループ A	冷却運転停止 (新たなピーク カット時間帯)	通常運転 	冷却運転停止 (従来のピーク カット時間帯)	通常運転 		
消費電力 <sup>※</sup>	17w	300w	17w	300w		
グループ B	通常運転 	冷却運転停止 (新たなピーク カット時間帯)	冷却運転停止 (従来のピーク カット時間帯)	冷却運転停止 (新たなピーク カット時間帯)	通常運転 	
消費電力 <sup>※</sup>	300w	17w	17w	17w	300w	
グループ C	通常運転 	冷却運転停止 (従来のピーク カット時間帯)	通常運転 	冷却運転停止 (新たなピーク カット時間帯)	通常運転 	冷却運転停止 (新たなピーク カット時間帯)
消費電力 <sup>※</sup>	300w	17w	300w	17w	300w	17w

※夏場の平均的な自動販売機の最大使用電力

これからの自動販売機

## 「3D VIS」導入

製品の販売からハピネスの提供へ—  
機能やエコの面にも配慮した新モデルを1月より導入しました。

「3D VIS(スリーディ・ヴィアイエス)」は、一目でコカ・コーラの自動販売機だとわかる画期的なデザインで、全く新しいコンセプトのもとに誕生しました。従来の一般的な自動販売機と異なり「3D VIS」は、コカ・コーラのコンツァーボトルと同じように、立体的で象徴的なデザインを採用した曲線が特徴です。製品を販売する箱から、ハピネスを提供する販売チャネルへと大きく進化しています。

さらに「3D VIS」はデザイン性だけでなく、機能やエコの面にも配慮した新モデルです。エコへの対応を推し進めるためにヒートポンプなど環境にやさしい機能を搭載し、ノンフロン化も図られています。



### 「3D VIS」のポイント >>>

#### ダイナミックリボン

おなじみの白い曲線「ダイナミックリボン」をサイドに表現。



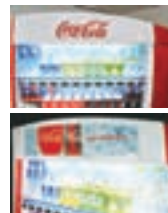
#### アップリフティング

コカ・コーラを開けたとき、そして飲んだときの高揚感を自動販売機でも演出。



#### 左右非対称のトッパー

これまでの自動販売機とは大きく異なる点。あえてトッパーの左右を非対称にし、曲線を表しています。また、中央部分が盛り上がり、3Dが演出されています。トッパー部分に入るポスターは差し替えが可能です。



#### コカ・コーラの泡をイメージ

コイン投入口、返却レバー、お札投入口はコカ・コーラの泡を表現した丸いデザインになっています。



#### ポスターも3Dに

ポスターでも3Dを演出。飛び出して見える二層式のポスターを作成しています。



## 「横浜F・マリノス」「名古屋グランパスエイト」と スポンサー契約を締結

当社は製品を通じて地域のみなさまにさわやかさを  
お届けするとともに、さまざまなスポーツ・文化活動を支援しています。  
今回Jリーグの2チームとスポンサー契約を締結したことで、  
より地域に密着した企業として活動を展開していきます。



### 横浜F・マリノスとオフィシャルスポンサー契約を締結

横浜F・マリノスとオフィシャルスポンサー契約を締結し、日産スタジアムで開催されるゲームでの飲料販売や、ホームゲーム時におけるスタジアム内への看板設置などを実施します。また、横浜F・マリノスとの協働取り組みとして、マリノスカラーにデザインしたマリノス支援自動販売機を展開するなど、さまざまな活動が計画されています。

1月29日には、横浜F・マリノスの本社機能と練習場がある横浜みなとみらい地区の「マリノスタウン」でファン感謝デー「2011横浜F・マリノス トリコロールフェスタ」が開催され、過去最多の11,230人のサポーターが集結し、選手と交流。スポンサー企業がブース出展するイベント会場で、当社VS横浜支店が飲料販売を行いました。また、このマリノスタウンには、売上金の一部が横浜F・マリノスへの支援としてクラブに還

元されるマリノス支援自動販売機9台が設置され、選手・サポーターの皆さんにお披露目されました。今後“コカ・コーラを飲んで横浜F・マリノスを応援しよう!”をキーワードに、展開活動を実施していきます。



### 名古屋グランパスエイトとチームスポンサー契約を締結

名古屋グランパスエイトとチームスポンサー契約を締結し、瑞穂陸上競技場、豊田スタジアムでのホームゲームで飲料販売を実施するほか、広告掲出によりブランド価値の向上を図っていきます。

また、東海地方限定でオリジナルデザインの自動販売機を設置し、あわせて名古屋グランパスエイトデザイン缶を展開することで販売の拡大を図っていきます。





グラソー  
**takaraful**



## 湘南に“グラソー海の家”がオープン “世界一 takaraful な海の家”を学生がプロデュース



7月1日、湘南(片瀬西浜海水浴場)に“グラソー海の家”がオープンしました。

全国公募から厳正な審査を勝ち抜いた学生チームが主体となり、個性溢れるアイデアで“世界一 takaraful<sup>®</sup> な海の家”を実現し、湘南の海をグラソー色に華やかに盛り上げました。

※「宝がいっぱい」+「カラフル」の造語です。

## 海老名市と「防災力の向上に関する協定」を締結

当社は海老名市と「防災力の向上に関する協定」を締結し、2月25日、神奈川県海老名市役所で調印式が執り行われました。

海老名市とは、平成14年に災害協定を締結していましたが、さらに市民の皆さんに役立つ内容に見直すこととなりました。これにより、市庁舎をはじめ市内22カ所の市営住宅や公園に、災害対応型自動販売機を設置し、災害時に自動販売機内の製品を無償で提供するとともに、備蓄用飲料として「森の水だより」2ℓペットボトル9,000本を提供しました。



## 下半期新製品のご紹介

7月  
発売



コーラ  
ヘリテージシリーズ

### コーラ 生誕125周年記念シリーズ

コーラ・コーラ生誕125周年を記念して、ヘリテージシリーズを発売しました。第一弾として、7月に1899年当時使用されていたハッチンソンスタイルボトル\*1を、また第二弾として、9月に1900~1926年頃に使用されていたクラウントップボトル\*2を復刻導入しました。

7月  
発売



スプライト

### クールな炭酸飲料 当時からほうふつとさせる パッケージでリニューアル

強炭酸とレモンライムの味わいによる瞬間的な爽快感が、カラダとアタマをリフレッシュさせてくれる透明炭酸飲料です。日本発売当時の緑のガラス瓶のイメージを踏襲したラベルデザインでリニューアルしました。

8月  
発売



ジョージア ヨーロピアン  
コクの微糖

深いコクで  
深いリラックスを提供するNo.1  
微糖缶コーヒーをリニューアル  
ヨーロッパで好まれるアラビカ豆を中心にブレンドし、深い香りを生かした飲みやすい味わいに改良しました。王冠の背景にアロマをあしらい、金色でヨーロッパ大陸を描いた新グラフィックを採用しました。

8月  
発売



ファンタ 日本の果実 もも

### 「日本の果実シリーズ」 第二弾は 定番フレーバーのもも

「日本が誇る身近でおいしい果物の味わいをファンタで楽しもう!」というコンセプトシリーズの第二弾です。果物のみずみずしさをパッケージに表現しました。

9月  
発売



アクエアース 朝・3プラス

### 1本で、朝の求める 栄養と水分補給を

「アクエアース 朝・3プラス」は朝のカラダが求める水分補給と栄養補給を同時にもたす1本です。カルシウムとビタミンC、そして水分補給を助けるイオンを含んでいます。爽やかなバレンシアオレンジ味の、ローカロリー設計(18kcal/100ml)です。

9月  
発売



Qoo  
とってもヘルシーグレープ

### 「なぞなぞ」 「絵さがし」で Qooと一緒に楽しく分別

おいしさはそのまま、糖分とカロリーを従来品の1/2としました。手摘みグレープと純水を使用し、後味がすっきりとしたグレープ味です。ラベルの裏側には「なぞなぞ」と「絵さがし」が付いているので、楽しく分別することができます。

9月  
発売



ジョージア  
エメラルドマウンテンブレンド 微糖

### 絶妙なバランス、 爽やかなうまさ、

すっきりした甘さでリニューアル  
高級豆「エメラルドマウンテン」を使用しています。ミルクと甘みの絶妙なバランス、すっきりとキレのある、後味が爽やかな味わいを楽しむことができます。見た目からも品質感とすっきり感を感じられるデザインにリニューアルしました。

10月  
発売



ジョージア  
エメラルドマウンテンブレンド カフェオレ

### ミルクの甘さと コーヒーのほどよい苦味の バランスがよいカフェオレ

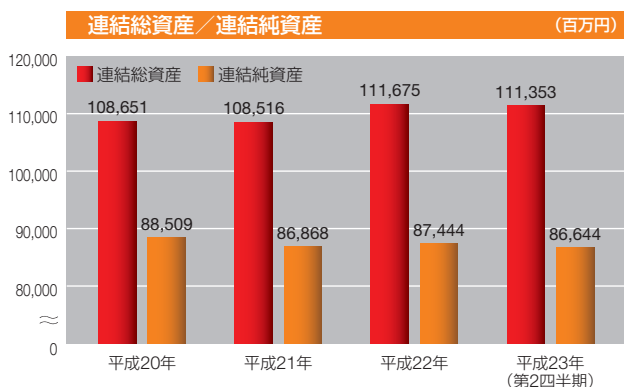
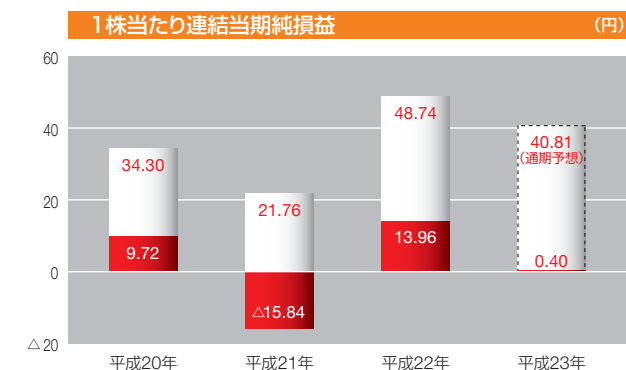
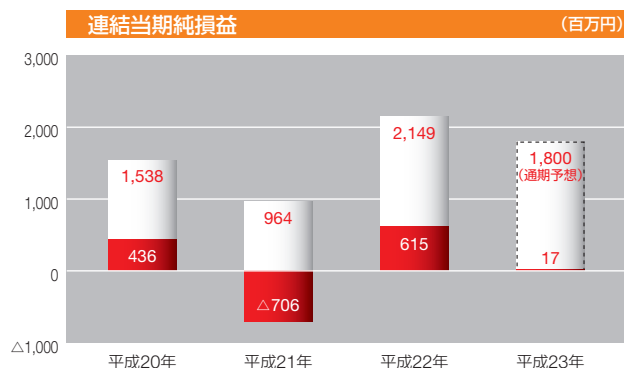
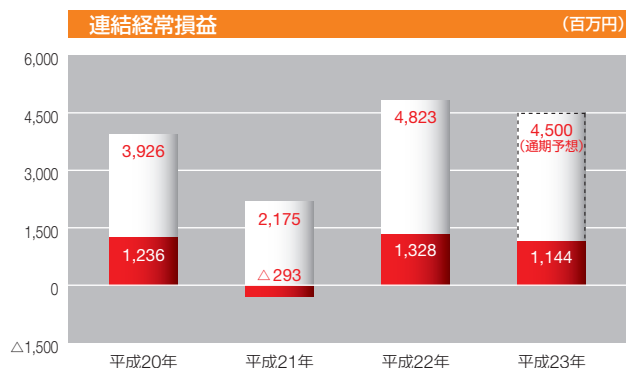
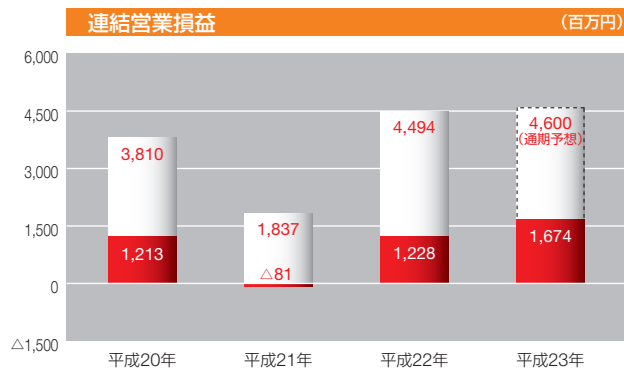
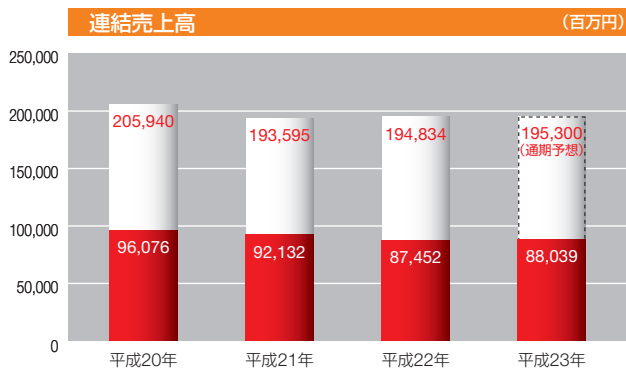
高級豆「エメラルドマウンテン」を使用し、ミルクと北海道産生クリームを加えることでフレッシュな味わいに仕立てました。甘さと、ほどよい苦味のバランスがとれたカフェオレとなっています。美しさと品質感を感じさせるデザインで新登場です。

\*1 ハッチンソンスタイルボトルとは… コーラ・コーラが初めて瓶詰めされた頃のボトルで、王冠が流通する以前、金具式の栓を使用

\*2 クラウントップボトルとは… 王冠が流通しはじめた頃からコンツァーボトル誕生までの期間使用されていたボトル

# 財務ハイライト

■ 第2四半期 □ 通期



※平成21年1月4日付をもって1株を500株に分割いたしました。  
過去の数字におきましても、比較のため分割後の数字に換算して表示しております。

## 上半期の営業概況

### 販売施策

販売面におきましては、年初より成長チャネルであるスーパーマーケットおよびドラッグストアへの販売取組みの強化や、今期の重点エリアと位置づけている静岡県の販売体制強化に取り組むとともに、その他の注力エリアの市場開拓を目的としたチャネル横断での積極的な営業活動を継続して行いました。震災が発生した3月以降は、当社グループおよびコカ・コーライーストジャパンプロダクツ株式会社の製造工場や自動倉庫等物流拠点の被災による製品供給不足、新製品発売やプロモーションの中止・延期等がありました。震災発生後は、ミネラルウォーター「い・ろ・は・す」、「森の水だより」や緑茶飲料「綾鷹」等、需要が急拡大した製品の供給を優先的に行い、安定供給の目途がたった6月以降においては供給品目数を拡大するなど、消費者需要に柔軟に対応した販売活動を行いました。

### 生産・物流施策

生産・物流面におきましては、前述のとおり製造工場や自動倉庫等物流拠点の被災により製品の安定供給に影響がりましたが、全社挙げての復旧作業により5月末までに復旧を果たしております。また、震災の影響を受けなかった当社グループの製造工場においては増産体制を整え、市場への製品供給に寄与いたしました。物流拠点につきましては、6月下旬に静岡県三島市に共配センター専用拠点を設置し、在庫の集約による効率化と安定的なオペレーションを実現いたしました。製造設備につきましては、東海北工場に20 $\mu$ m（マイクロメートル）薄肉ラベル対応ラベラーを導入するなど地球環境に配慮した資材への対応工事を実施いたしました。

### CSR活動

CSR活動におきましては、当社グループを含むコカ・コーラシステムの全世界共通事業指針である「Live Positively（リブ・ポジティブリー）～世界をプラスにまわそう～」を基盤に、「法令遵守」、「製品の安全保証」、「環境保全」および「社会貢献」を重点施策として取り組みました。

### 業績について

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は880億39百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は16億74百万円（前年同期比36.3%増）、経常利益は11億44百万円（前年同期比13.9%減）、四半期純利益は17百万円（前年同期比97.1%減）となりました。

## 四半期連結財務諸表の要旨

### 第2四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期	前年同四半期	前期
	平成23年6月30日現在	平成22年6月30日現在	平成22年12月31日現在
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>	<b>44,596</b>	<b>43,297</b>	<b>43,994</b>
<b>固定資産</b>	<b>66,756</b>	<b>69,475</b>	<b>67,681</b>
有形固定資産	54,961	56,613	54,871
無形固定資産	1,264	1,318	1,223
投資その他の資産	10,530	11,543	11,586
<b>資産合計</b>	<b>111,353</b>	<b>112,773</b>	<b>111,675</b> *1
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>	<b>19,042</b>	<b>20,191</b>	<b>18,446</b>
<b>固定負債</b>	<b>5,666</b>	<b>5,916</b>	<b>5,785</b>
<b>負債合計</b>	<b>24,708</b>	<b>26,107</b>	<b>24,231</b> *2
<b>純資産の部</b>			
<b>株主資本</b>	<b>86,606</b>	<b>86,630</b>	<b>87,369</b>
資本金	6,499	6,499	6,499
資本剰余金	24,815	24,818	24,818
利益剰余金	56,501	56,537	57,277
自己株式	△1,209	△1,225	△1,225
<b>評価・換算差額等</b>	<b>△7</b>	<b>5</b>	<b>29</b>
その他有価証券評価差額金	△7	5	29
<b>新株予約権</b>	<b>44</b>	<b>30</b>	<b>45</b>
<b>純資産合計</b>	<b>86,644</b>	<b>86,665</b>	<b>87,444</b> *3
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>111,353</b>	<b>112,773</b>	<b>111,675</b>

（注）表示単位未満は、切り捨てております。

## 第2四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期	前年同四半期	前期
	平成23年1月 1日から 平成23年6月30日まで	平成22年1月 1日から 平成22年6月30日まで	平成22年 1月 1日から 平成22年12月31日まで
売上高	88,039	87,452	194,834 ※4
売上原価	52,947	53,652	119,881
売上総利益	35,092	33,799	74,953
販売費及び一般管理費	33,417	32,571	70,459
営業利益	1,674	1,228	4,494 ※5
営業外収益	179	246	475
営業外費用	709	145	145
経常利益	1,144	1,328	4,823
特別利益	9	5	48
特別損失	575	299	1,143
税金等調整前四半期(当期)純利益	578	1,034	3,728
法人税、住民税及び事業税	656	259	1,899
法人税等調整額	△ 96	159	△ 320
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	17	—	—
四半期(当期)純利益	17	615	2,149 ※6

(注) 表示単位未満は、切り捨てております。

## 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期	前年同四半期	前期
	平成23年1月 1日から 平成23年6月30日まで	平成22年1月 1日から 平成22年6月30日まで	平成22年 1月 1日から 平成22年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,725	8,555	16,704 ※7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,051	△6,517	△14,252 ※8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,106	△1,489	△2,868 ※9
現金及び現金同等物の増加・減少額	△432	548	△416
現金及び現金同等物の期首残高	5,561	5,978	5,978
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	5,129	6,527	5,561

(注) 表示単位未満は、切り捨てております。

### ※1 資産

前期末に比べ3億21百万円減少し、1,113億53百万円となりました。これは主として、貸付金が減少したこと等によるものです。

### ※2 負債

前期末に比べ4億77百万円増加し、247億8百万円となりました。これは主として、買掛金が増加したこと等によるものです。

### ※3 純資産

前期末に比べ7億99百万円減少し、866億44百万円となりました。これは主として、配当金の支払によるものです。

### ※4 売上高

震災の影響により製品供給不足、新製品発売やプロモーションの中止・延期等があったものの、需要が拡大した製品の供給を優先的にを行い、安定供給の目処が立ったのちに供給品目数を拡大するなど消費者需要に柔軟に対応した結果、売上高は880億39百万円(前年同期比0.7%増)となりました。

### ※5 営業利益

諸経費の削減に取り組んだこと、また震災により一部経費発生が下期に延びたこと等により、営業利益は16億74百万円(前年同期比36.3%増)となりました。

### ※6 四半期純利益

コカ・コーライーストジャパンプロダクツ株式会社の被災に伴う持分法による投資損失の計上、当社グループの被災した自動倉庫の修繕費等を特別損失に計上した結果、四半期純利益は17百万円(前年同期比97.1%減)となりました。

### ※7 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による収入は、主として減価償却費や仕入債務の増加があったこと等により、37億25百万円(前年同期比48億29百万円収入減)となりました。

### ※8 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による支出は、主として販売機器などの有形固定資産の取得があったこと等により、△30億51百万円(前年同期比34億65百万円支出減)となりました。

### ※9 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による支出は、主として配当金の支払があったこと等により、△11億6百万円(前年同期比3億82百万円支出減)となりました。

# 特別口座株式の振替請求のご案内

平成21年1月に株券が電子化されましたが、証券会社の口座にお預けにならなかった当社株式は三菱UFJ信託銀行にある「特別口座」にて管理しております。「特別口座」に預けられたままでは、株式売買に制約があり、また、追加管理コストが発生しております。つきましては、「特別口座」から「証券口座」への振替のお手続きにご協力くださいますようお願い申し上げます。

お手元に届きました配当金計算書で

ご 所 有 株 式 数 を ご 確 認 く だ さ い

第11期(平成23年10月1日～23年9月30日) 中間配当金計算書

ご所有株式数	1株当りの配当金	配当金額	所得税率	所得税額	税引配当金額
			住民税率%	住民税額	

多い事例としましては、**1単元(100株)未満、または1単元以上であっても所有株式数が110株、1,210株など100株未満の端株をお持ちの場合**、特別口座に株式が預けられている可能性があります。

ご確認とお手続きの詳細については、三菱UFJ信託銀行証券代行部(フリーダイヤル0120-232-711)にお問合せください。

上記のとおり計算いたしましたのでご通知申し上げます。  
本票は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねておりますので、確定申告を行う際は、本票をその添付書類としてご使用いただけます。  
平成23年9月8日

支払決定日 平成23年9月9日  
支払開始日 平成23年9月9日

コカコーラ セントラル ジャパン 株式会社  
株主名簿管理人  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
〒100-8081 東京都中央区東豊町7丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711 (通話料無料)

お電話によるお手続き等に関するご照会 (オペレータ対応)



**0120-232-711** (通話料無料)

[平日9時～17時受付]

## 「特別口座」から証券会社の口座に移管する方法

1

### 証券会社に 口座を 開設する。

※すでに証券会社に口座をお持ちであれば、新たに開設する必要はありません。



窓口による  
お取次の場合

ご郵送による  
受付の場合

2

### お近くの三菱UFJ信託銀行の本店または支店で手続き

特別口座 口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行株式会社 本店 および 全国各支店  
○通常の銀行取引と同様、銀行営業時間の 9:00 ~ 15:00 のお受付となります。

2

### 三菱UFJ信託銀行に 振替用の請求用紙を 請求する。



※ホームページからも印刷可能です。

URL:  
[http://www.tr.mufg.jp/daikou/tetsuzuki\\_01.html](http://www.tr.mufg.jp/daikou/tetsuzuki_01.html)

3

### 請求用紙に必要事項を 記入・押印して、 三菱UFJ信託銀行に 送付する。

#### ご郵送による受付場所

三菱UFJ信託銀行株式会社  
証券代行部  
〒137-8081  
東京都江東区東砂7丁目10番11号



手続きは  
完了です。  
証券会社の  
口座に  
株式が移管  
されます。

(所定の日数  
がかかります  
のでご了承  
願います。)

#### ● 注意事項

- 口座振替の申請手続きを行うためには、あらかじめ証券会社等で口座を開設しておく必要があります。口座の開設手続き等については口座を開設される証券会社等にご相談ください。
- 三菱UFJ信託銀行証券代行部において受け付けた日から、原則4営業日目に完了する予定ですが、5営業日以上の日程を要する場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 「口座振替申請書」の不備のお取扱い  
ご提出いただきました「口座振替申請書」の内容に印鑑相違等の不備が発見された場合、振替請求は無効となります。  
三菱UFJ信託銀行証券代行部よりご連絡いたしますので、お手数ですが、あらかじめお手続きいただきますようお願い申し上げます。
- 口座振替の申請手続きを行うために、特別口座 口座管理機関に対して手数料を頂戴することはありません。
- お取引証券会社にお預けの株式については、本案内状による振替のご請求はできませんので、お取引証券会社までお問合せください。  
その他ご不明な点がございましたら、三菱UFJ信託銀行証券代行部にお問合せください。

## 株主優待制度のご案内

毎年6月30日、12月31日現在の株主のみなさまに、当社製品を贈呈しております。

#### ● 贈呈基準

100株以上500株未満保有されている株主さま 720円相当の当社製品

500株以上保有されている株主さま 2,880円相当の当社製品



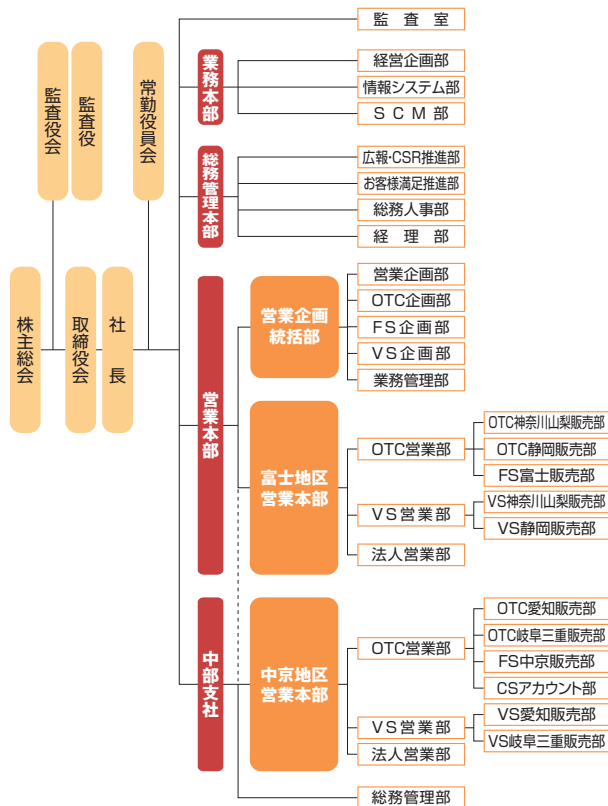
#### ● 贈呈時期

- ◆ 6月30日現在の株主さま……………9月中旬
- ◆ 12月31日現在の株主さま……………4月初旬

(写真の製品と異なる場合があります。)

# 経営体制 (平成23年6月30日現在)

## 組織図



## グループ会社

- セントラルジャパンロジスティックス株式会社  
清涼飲料等の配送
- セントラル ジャパン テクノサービス株式会社  
販売機器の保守、修理
- エフ・ヴィセントラル株式会社  
自動販売機による飲料等の販売
- コカ・コーラセントラルジャパンプロダクツ株式会社  
清涼飲料の製造
- コカ・コーライーストジャパンプロダクツ株式会社  
(関連会社)  
清涼飲料の製造

## 役員

### 取締役

代表取締役社長	高橋 顕 三	
取締役専務執行役員	須方 信 雄	総務管理本部長、内部統制担当
取締役常務執行役員	大野 利 秋	営業本部長
取締役常務執行役員	尾崎 昭 宗	業務本部長
取締役常務執行役員	檜井 幸 夫	中部支社長(兼)中京地区営業本部長
取締役	菱田 州 男	三菱商事株式会社 食品本部長
取締役	米井 元 一	株式会社明治屋 代表取締役社長
取締役	魚谷 雅 彦	日本コカ・コーラ株式会社 取締役会長
取締役	碓田 聖 史	三菱重工食品包装機械株式会社 代表取締役社長

### 監査役

常勤監査役	荒川 利 行	
常勤監査役	近藤 良 雄	
監査役	谷村 信 哉	三菱商事株式会社 機械グループCEOオフィス室長
監査役	増 一 行	三菱商事株式会社 生活産業グループ管理部長

### 執行役員

常務執行役員	島 田 勝 一	広報・CSR推進部長
執行役員	野々山 和 博	富士地区営業本部長
執行役員	鎌田 勝	営業企画統括部長
執行役員	嶋田 嘉 雄	中京地区営業本部副本部長
執行役員	橋本 誠 治	総務人事部長
執行役員	近本 裕	中京地区営業本部法人営業部長
執行役員	山田 正 明	富士地区営業本部VS営業部長

## 株式の状況 (平成23年6月30日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数	171,000,000株
発行済株式の総数	45,003,495株
株主数	17,934名

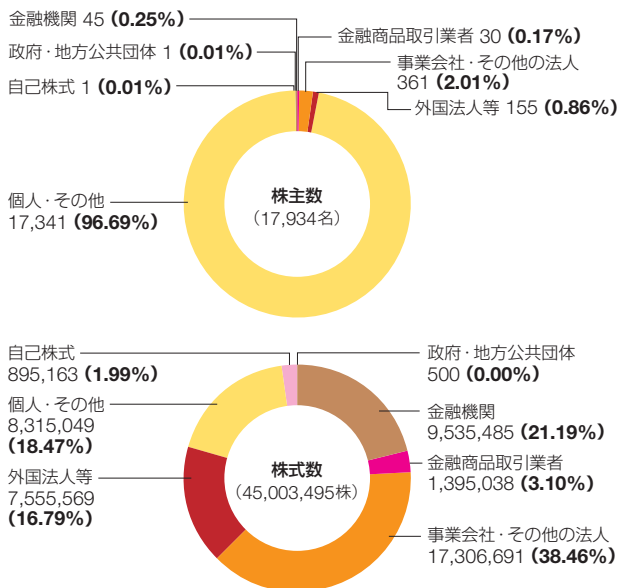
### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
三菱商事株式会社	10,118,125	22.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社退職給付信託(明治屋口)	2,908,200	6.46
THE COCA COLA EXPORT CO.	2,250,500	5.00
三菱重工工業株式会社	2,047,425	4.54
東洋製罐株式会社	1,878,545	4.17
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	1,199,200	2.66
トチエモルガンワンウェルシーアイリミテッドジェネラルクライアントアカウト	1,020,964	2.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	966,200	2.14
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	676,500	1.50
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	660,800	1.46

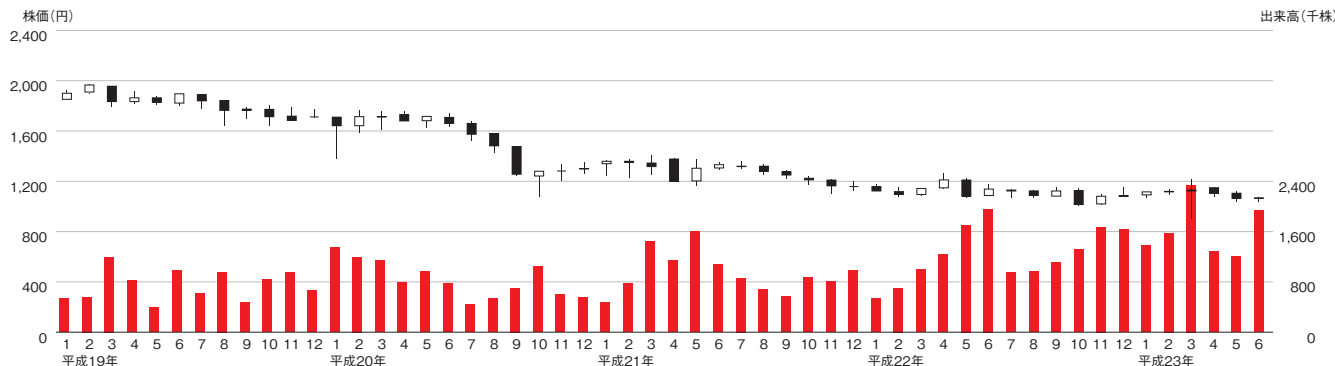
※1 出資比率は、表示単位未満を切捨てて表示しております。

※2 自己株式 895,163株は、上記大株主から除いております。

### 株主分布状況



### 株価および出来高の推移



※1 平成21年1月4日付をもって1株を500株に分割するとともに、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を導入いたしました。

※2 平成19年1月から平成20年12月までの株価および出来高につきましては、遡って株式分割したものと表示しています。

## 会社の概要・株主メモ

### 会社の概要 (平成23年6月30日現在)

商号	コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社 Coca-Cola Central Japan Co., Ltd.
本社所在地	〒220-8141 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号
設立	平成13年6月29日
資本金	64億99百万円
上場取引所	東京証券取引所および名古屋証券取引所 各市場第一部
会計監査人	有限責任 あずさ監査法人
格付け	A+ (シングルAプラス) 日本格付研究所 A (シングルA) 格付投資情報センター
事業内容	清涼飲料の製造、加工および販売等の事業
従業員数	連結2,642名、単体1,601名

### 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日
剰余金の配当の基準日	6月30日、12月31日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により行います。 *ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときには、 日本経済新聞に公告いたします。 公告掲載URL <a href="http://www.cccj.co.jp/ir/koukoku/">http://www.cccj.co.jp/ir/koukoku/</a>

#### お問合せ

#### 証券口座で株式を 保有している株主さま

住所変更、買取・買増請求その他お手続き  
につきましては、口座を開設されている証券  
会社等にお問合せください。

#### 特別口座で株式を 保有している株主さま

住所変更、買取・買増請求その他お手続き  
につきましては、特別口座の口座管理機関  
(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。

※なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

#### お問合せ先:

コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社 総務人事部  
〒220-8141 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号  
TEL. 045-222-5850 FAX. 045-222-5857



この報告書は、環境に優しい植物  
油インキを使用して印刷すると  
もに、針金を使わず「ECO綴じ」  
にて製本しています。